

令和8年3月16日

伊那市長 白鳥 孝 様

伊那市議会議長 田畑 正敏

### 伊那市の持続的な発展を目指す提言

伊那市議会では、本市を取り巻く状況や環境の変化を鑑みるなかで、喫緊の重要テーマである2つの課題について、特別委員会（人口減少対策特別委員会・まちづくり課題検討特別委員会）を設置し、2年間にわたり調査・研究を行いました。現地調査等による実態把握や専門的団体等との懇談、先進地視察、講演会の聴講、報告書や調査結果・文献の分析等を踏まえ議員間討議を重ね、課題の整理と施策の検討を行いました。

伊那市の発展につながるという視点から、議会の総意として提言しますので、積極的な対応を望みます。

## 人口減少対策特別委員会 調査・研究に係る提言

全国的に進む少子高齢化と大都市への人口集中が加速する中、人口減少問題は全国的な課題となっています。本市は、人口動態では自然減の傾向が続く中で人口減少対策として様々な施策を行い、社会動態ではいな住まいる補助金等が社会動態の改善に大きな役割を果たしています。

一方、若年層（特に若年女性）の流出が進行しており、地域社会における喫緊の課題となっています。

人口減少が避けられない社会情勢の中、人口を減らさないことだけを目標にするのではなく、魅力ある施策と発信によって転入者を増やし、人口減少を少しでも緩やかに推移させる方向性が大切であるとの結論に至り、下記のとおり提言します。

### 記

#### [伊那市で女性が働くことができる職場の拡充]

- 1 女性が能力を発揮し、希望する働き方が出来る環境を整えるため、市から企業への働きかけと支援体制を強化すること。
- 2 より多くの大学・短大・専門学校へのPRパンフレット配布や、電子媒体による常時の求人情報の発信など、若者に届く広報の充実を強化すること。  
また、県外からの転職者用サイトや女性の転職・移住サイト、就業対策についても充実を図ること。
- 3 企業のデジタル化に対応した技術の学びの場の創設や、就労予定の女性を対象とした林業・農業・製造業等での就業体験ができるマッチングサイトを立ち上げるなど、女性が就職しやすい技術習得や就職機会の増加を拡充すること。

#### [移住婚対策の充実]

- 1 いなし出会いサポートセンターについて、センターの周知やイベントの多様化、開所日の拡大、広域での婚活ができるようにすることなど、充実を図ること。
- 2 20代から30代の女性が魅力を感じる伊那市の特徴をSNS活用により積極的に発信することや、移住婚に対する補助制度の拡充など、移住婚の対策についても強化すること。

## まちづくり課題検討特別委員会 調査・研究に係る提言

高校再編を契機として市街地の新たな発展構想を探る中で、空き店舗問題がまちづくり上の重要課題と確認しました。行政・議会・市民・事業者が一体となり、空き店舗の再生を起点とした持続可能なまちづくりを推進することが重要と考えますので、下記のとおり提言します。

### 記

#### 1 推進体制(プラットフォーム)の構築

行政・商工団体・不動産業界・地域団体・金融機関等が協働し、空き店舗情報の一元管理、マッチング支援、補助制度案内をワンストップで提供する体制を整備すること。

#### 2 専任人材(コーディネーター/キーマン)の確保・育成

現地調査・所有者交渉・改修助言・創業支援等を担う専門人材を育成し、官民の橋渡し役として「空き店舗利活用コーディネーター」(集落支援員の活用等)を配置すること。

#### 3 制度・支援の柔軟化(実態に合う設計と継続支援)

実情に即した支援事業の制度設計や創業後のフォローアップ等など、経営を長期的にサポートする支援制度を検討すること。

#### 4 情報の整備・発信とマッチング手法の改善

空き店舗ツアー・ウェブマップ整備・SNS発信等により、市民や移住希望者が地域資源にアクセスしやすい仕組みを整えること。

#### 5 まちの将来像(中心市街地ビジョン)とハード面(防災等)の位置づけ

空き店舗再生を中核に据えた「伊那市中心市街地まちづくりビジョン(仮称)」を策定し、将来像と施策体系を明確化すること。また、防災や防犯など地域の安心安全を高めるハード面の整備を含めた方向性を示し、ビジョンや各種計画へ反映させること。